

コーディネーター

- ・自分が携わっていた他の自治体の地域では何でも「防災」に繋げて地域コミュニティ活動を実施しているが、それでもいろんな住民を巻き込んでやっていくということは難しい。
 - ・学校支援の活動をしてきたが、こどもたちが次の未来に健やかに育ってもらうには、やはり最後は「コミュニティ」が重要。
 - ・町の活性化＝次世代育成という問題意識を持って「コミュニティスペース」という色々な人が集える居場所を設置、運営している。
 - ・今日の参加者の中だけでも、世代も違えば見え方も違う。色々な視点で話し合えて、地区ごとの情報共有もできた。
 - ・大治町は愛知県内でも中々広がっていないコミュニティ・スクールを導入している。そういった制度を生かしながら子供たち自身が町に対して課題認識を持った上で興味・関心を持たせていくということも今後考えていってもいいのではないか。
- ※コミュニティ・スクール・・・地域住民や保護者等の意見を学校運営に反映させる仕組みとして、教育委員会が設置する学校運営協議会（制度）を導入した学校のこと

参加者

- ・大学で行政、政策について学びたい。良い機会だと思って参加した。
- ・こども食堂ボランティアに参加し、とても賑わって楽しかった。この地域の野菜ももらったりしてとてもうれしかった。
- ・地域のコミュニティの仕組みを初めて知った。勉強になった。
- ・大治町に住んで40年以上経つ。発展とともに地域コミュニティのあり方も変わっていくべきだと思うが、実際はそうなってはいない。コミュニティのあり方と並行して行政のあり方、関わり方も考えていかななくては。
- ・孤独を感じないように集まれるサロンの、憩いの場所があればいいと思う。
- ・こういう機会を設けてくれたことはとても素晴らしいことなので、ぜひ継続していったほしい。
- ・桜の木を植えてほしい。大治町に桜並木があってもいい。
- ・片手間では中々コミュニティの運営は難しい。代表者だけでなく地域全体での協力がほしい。
- ・若い人が積極的に参加できるような組織作りが大事。
- ・地域において一番の課題はやっぱり防災とごみ問題。
- ・町行政を見ていると子育て支援は頑張っているように思う。だからこそ地域でうまくやれるようなコミュニティがあればなお良いかなど。
- ・既存のコミュニティは役員が輪番制で任期が一年なので、ノウハウが蓄積されていない。任期を伸ばしていったほうが良いのでは。

など